

第6 副 詞

	告 示 (昭34) [現行]	朝 日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公 用 文 (昭22)	中 等 国 語 (昭23)	案 (昭21)	送 仮 名 法 (明40)
副 詞 一 般	23 副詞は、最 後の音節を送 る。		(告示に同じ。)	第3 1 副詞は最 後の1音節 を送る。	第5 1 副詞は最 後の1音節 を送る。	第3 1 副詞は 最後の1 音節を送 る。	第8則 2音ノ 副詞 <u>モ</u> シ、 <u>ヨ</u> <u>シ</u> 、 <u>ヨ</u> ク、 <u>カ</u> <u>ク</u> ノ4語及ビ 3音以上ノ副 詞ニ用キラレ タル漢字ニハ、 最後ノ1音ヲ 送仮名トシテ 添フベシ。
	必 ず	○	○	○	○	○	○
	少 し	○	○	○	○	○	○
	再 び	○	○	○	○	○	○
	全 く	○	○	○	○	○	○
	最 も	○	○	○	○	○	○
他の例語→				殊に、既に、常 に、更に、但し	更に、実に、既 に、互に、常に、 特に、自ら	先づ、若し、 殊に	殆ど、尤も、聊 か、自ら、甚だ、 雖も、能く、斯 く

	告示 (昭34) [現行]	朝日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公用文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
副詞	直ちに(「直に」では難読, 「じきに, じかに, すぐに」と誤読。)	○	○	○	○	○	直 =
一般	大いに(「大に」では難読。慣用があった。)	○	○	○	○	○	○
	他の例語 →					徒らに	
他の副詞と関係のある副詞	24 他の副詞を含む副詞は, 含まれている副詞の送りがなによって送る。		(告示に同じ。)	第3 4 副詞の語尾に更に助詞・接尾語が加わって, 別の副詞となっているものは, もとの副詞の送りがなから送る。	第5 4 副詞の語尾に更に助詞・接尾語が加わって別の副詞となっているものは, もとの副詞の送りがなから送る。	第3 4 副詞の語尾に更に助詞, 接尾語が加はって別の副詞となっているものは, もとの副詞の送りがなから送る。	第9則 副詞ノ語尾ニ助詞接尾語アルモノハ, ソノ送ルベキ部分ヲ添ヘテ送ルベシ。

	告示 (昭34) [現行]	朝日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公用文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
	必ずしも	○	○	○	○	○	○
	他の例語 →			若しくは	若しくは	若しも、若しくは	争デカ、必ズシモ、聊カモ
名詞と関係のある副詞	25 名詞を含む副詞は、その名詞の送りがなによって送る。		(告示に同じ。)			第3 6 副詞の一部分に名詞をふくむものは、そのふくまれるもの以外の部分をかきとす。	
	幸いに	○	○	(さいわい)	(さいわい)	○ (幸ひ) 副	○ (幸ヒ) 副
	互いに	○	○	互に	互に	互に	互ニ
	斜めに	○ (斜め)	○	○ (斜め)	○ (斜)		(斜)
	他の例語 →					手づから	

	告示 (昭34) [現行]	朝日 (昭37) [現行]	法令用語 (昭35) [現行]	公用文 (昭22)	中等国語 (昭23)	案 (昭21)	送仮名法 (明40)
活用語と関係のある副詞	26 活用語を含む副詞は、その活用語の送りがなによって送る。		(告示に同じ。)	第3 5 活用語と関係のある副詞は、その活用語の語尾を送る。	第5 3 活用語から転じた副詞はそれぞれ活用語の送りがなの基準に従ってつける。	第3 5 活用語と関係のある副詞はその活用語の語尾を送る。	
	絶えず	○	○				
	少なくとも	○	○	少くとも	○	少くとも	少クトモ
	他の例語 →			始めて、絶えず、盛んに、従って	決して、初めて	余り、始め、絶えず、盛んに	